

令和5年度第1回地区代表者会議 次第

日時：令和5年4月25日(火)19:00～

場所：リージョンプラザ南館 第2研修室

1 開会

スポーツ振興課長 挨拶

2 議題

(1) 第15回三原市民体育大会について

① 第15回三原市民体育大会の開催について・・・・・・・・・・資料1

開催日 10月8日(日)

会場 やまみ三原運動公園 陸上競技場

②申請書類について

ア 補助金交付申請等の関係書類・・・・・・・・・・資料2

補助金交付申請書, 補助金(概算払)交付請求書, 賞金請求書,
バス配車・責任者確認表

7月19日(水)までに提出してください

イ 補助事業完了実績報告書・・・・・・・・・・資料3

10月31日(火)までに提出してください

③今後の予定について

ア 第2回地区代表者会議

- ・日時：令和5年7月19日(水) 19:00～
- ・場所：三原市中央公民館 大講堂
- ・内容：市民体育大会ルール説明会

イ 第3回地区代表者会議

- ・日時：令和5年9月上旬 19:00～
- ・場所：三原リージョンプラザ南館 第2研修室
- ・内容：市民体育大会抽選会

(2) 今後のスポーツ大会の予定について・・・・・・・・・・資料4

(3) その他

お問い合わせ先
〒723-0017 三原市港町三丁目5番1号
三原市教育委員会 スポーツ振興課
TEL: 0848-64-7219 FAX: 0848-67-5912
E-mail: sports@city.mihara.hiroshima.jp

令和5年度第15回市民体育大会の開催について

1 令和5年度第15回市民体育大会の開催について

- (1) 開催日 10月8日(日)
- (2) 場 所 やまみ三原運動公園 陸上競技場

2 開催における判断基準

令和5年2月21日改正の広島県におけるイベントの開催条件の基準により、飛沫などの感染経路に応じた感染対策や、飲食の場(昼食時)における感染対策など、基本的な感染防止策に必要な取り組みを実施した上で開催する。ただし、5月8日から感染症法の5類感染症に位置づけられ、開催基準が改正された場合は、その基準に従う。

3 現状

- (1) 県内及び三原市内の新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にある。
- (2) 5月8日には5類感染症に引き下げられる予定。
- (3) 他のスポーツイベントも通常開催に移行してきている。

4 令和2年度からのルール改正の検討状況

- (1) あり方検討会議の開催(令和2年度 5回開催) ※別紙参照

市民体育大会は長い歴史があり、市民のスポーツ促進及び地域の繋がりを深める大切な大会である。一方で、年々参加者が減少するなど、様々な課題も発生している。そのため、今後大会をどういう形にすべきか、あり方の検討を行い大会の見直しを行ったもの。

- (2) 令和4年度の検討状況

- ① 地区代表者会議での説明 令和4年7月25日(月)
あり方検討会報告と市民体育大会エキシビジョンの案内
- ② 市民体育大会エキシビジョン「ウォーキング&チャレンジ市民体育大会」開催
令和4年10月9日(日) 19地区中10地区約200名参加
競技種目の中で、あり方検討会でルールが改訂された種目の体験会
- ③ エキシビジョン終了後、参加者及び役員に対し意見を聴取
- ④ 玉入れ競技についての協議

あり方検討会では、男女混合で籠を2個設置するルールとなっているが、次のような理由により、前回大会のルールで行うほうが良いという事になった。

ア 2つ籠があると、集計の際に玉がこぼれたときにどちらの籠からこぼれたものかでもめることもある。

イ 男女混合にしてしまうと、男性が投げて女性が拾うといった役割が分かれてしまうことも懸念される。

ウ 各地区練習用の籠を修理するために、各地区の負担が増える。

- ⑤ ルールすり合わせ協議の開催 令和5年3月29日(水)
参加者：三原市陸上競技協会(大会当日 審判)
三原市スポーツ推進委員協議会(大会当日 運営)

第 1 5 回三原市民体育大会

- 1 趣旨 三原市民の体位向上を図り，地域社会の体育振興に資するとともに，相互の親睦を図ることを目的とする。
- 2 主催 三原市・三原市教育委員会
- 3 後援（予定）三原市体育協会・三原市スポーツ推進委員協議会
やまみ三原運動公園指定管理者 認定NPO法人ポラーノ
- 4 日時 令和5年10月8日（日）9：00～ 小雨決行
- 5 場所 三原市沼田東町釜山253-1（☎0848-66-3900）
やまみ三原運動公園「やまみ三原運動公園 陸上競技場」
- 6 その他

第14回大会（R元.10.13）結果

Aクラス	1位	須波地区
	2位	中之町地区
	3位	田野浦地区
	4位	幸崎地区
	5位	沼田東地区
	6位	本郷西地区
Bクラス	1位	本郷東地区
	2位	沼泉地区
	3位	皆実地区
	4位	西野地区
	5位	大和地区
	6位	三原北部地区
Cクラス	1位	糸崎・木原地区
	2位	沼北地区
	3位	三原中央地区
	4位	深町地区
	5位	鷺浦地区
	6位	-

※三原南部地区は第14回大会不参加。

競技種目

	種 目	男女別	出 場 者	開始予定時刻
	(オープン競技) ☆幼児かけっこ		小学生未満各 10 人以内	9 : 50
1	小中学生混合リレー	男女	小・中学生各 2 人	10 : 05
2	シグザグボール蹴り競争	男女 女	小学生各 1 人 20 歳以上 2 人	10 : 20
3	ラグビーボール蹴り競争	男	40 歳以上 4 人	10 : 35
4	ゲートボール, グラウンド・ゴルフ競争	男女	60 歳以上各 3 人	10 : 50
5	400mリレー	男女	20 歳以上各 2 人 40 歳以上各 2 人	11 : 15
	(オープン競技) 未定		未定	11 : 30
昼 食 休 憩				
6	玉入れ競争	男女	年齢制限なし 各 10 人	13 : 00
7	二人三脚むかで競争	男女	二人三脚 20 歳以上各 3 人 むかで競争 20 歳以上各 5 人	13 : 30
8	ボール運び競争	男 女	60 歳以上 3 人 50 歳以上 3 人	13 : 45
9	ボウリング競争	女	20 歳以上 8 人	14 : 00
10	総合リレー	男女	小学生~50 歳以上 (18 人)	14 : 25

※ _____ 変更部分

令和2年度市民体育大会のあり方検討委員会 最終報告

令和3年2月17日

三原市教育委員会

スポーツ振興課

1 あり方検討を行った経緯

市民体育大会（以下「大会」という。）は長い歴史があり、市民のスポーツ促進及び地域の繋がりを深める大切な大会です。

一方で、年々参加者が減少するなど、様々な課題も発生しています。

そのため、今後大会をどういう形にすべきか、あり方の検討を行い、大会の見直しを行ったものです。

2 大会の課題

(1) 大会の魅力減少

内容のマンネリ化、種目の偏りなど

(2) 選手集めの困難

人間関係の希薄化、子どもの多忙化、趣味の多様化など

(3) 役員負担

選手集め、大会準備など

3 大会テーマ及び目指す姿

「1 現状」及び「2 大会の課題」を踏まえ、大会のテーマ及び目指す姿を次のとおりとしました。

(1) 大会テーマ

「みんな出てみて元気の出る大会」

(2) 目指す姿

- ・選手・観客みんなが楽しめる。
- ・運動習慣の有無や年代ごとに多様な種目があり、参加しやすい。
- ・効率的な大会準備及び運営。

4 検討委員会の設置及び構成

(1) 委員会設置の目的

各地区での取り組みや課題を集約し、幅広い意見を基に大会の見直しを行うため、「市民体育大会あり方検討委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、検討を行いました。

(2) 委員構成及び選定理由

区分・人数	選定理由
地区代表者 5 名 (須波, 本郷東, 糸崎・木原, 鷺浦, 三原南部)	平成 31 年度各クラス第 1 位 及び参加困難地区
スポーツ推進委員 4 名	運営面での検討

※その他, 委員会の開催時に全地区代表者へ開催案内を発送し, 希望する地区が出席。

5 委員会の開催状況及び各地区からの意見聴取

(1) 委員会開催

5 回 (R2.7.30, 9.1, 10.20, 12.15, R3.1.21)

(2) 各地区へのアンケート

2 回 (R2.8.7, 11.18)

(3) 地区代表者会議

3 回 (R2.7.15, 11.18, R3.2.17)

6 主な見直し内容

(1) 種目の見直し

内容	対象種目
選手の年齢幅の見直し	総合リレー, ボウリング競争など
合同種目化	リレー種目, ボール蹴り競争など
ルールの簡素化	ゲートボール・グラウンド・ゴルフ競争など
新規種目の採用	幼児かけっこ (オープン競技)

※具体的な内容は, 別紙「プログラム改訂案」のとおり。

(2) 大会経過の表示の改善

ア 走順の明示 (走者へのゼッケン付け)

イ フィールド競技の自地区テント前での実施 (テント設置位置の変更)

ウ 得点表示板の追加, 大会途中での順位の放送など

(3) 大会参加条件の見直し

ア 鷺浦地区

鷺浦小学校へ通う他地区の子ども及び保護者の参加を認める。

イ 参加人数が揃わない地区

事務局へ相談の上, その地区へゆかりのある人及び家族の参加を認める。

(市内・市外を問わない)

7 市民への周知

(1) 令和 3 年度地区代表者会議での説明 (ルールの詳細など)

(2) 市広報, 市ホームページによる情報発信

現行					
No.	種目	男女別	年齢	人数	開始予定時刻
1	小学生混合リレー	男女	小学生	各3人	9:50
2	ジグザグボール蹴り競争	女	40歳以上	4人	10:05
3	中学生混合リレー	男女	中学生	各3人	10:20
4	ラグビーボール蹴り競争	男	50歳以上	5人	10:35
5	ゲートボール, グラウンド・ゴルフ競争	男女	60歳以上	各4人	10:45
6	400mリレー	男	20歳以上 30歳以上	2人 2人	11:10
7	小学生ボール蹴り競争	男女	小学生	各3人	11:20
8	400mリレー	男	40歳以上 50歳以上	2人 2人	11:35
☆	フライング・ディスク (オープン競技)	なし	なし	2人	11:45
昼食休憩					

→

改訂案					
No.	種目	男女別	年齢	人数	備考
新規	幼児かけっこ (オープン競技)	男女	小学生未満	10人以内	・お菓子を配る。(1人100円程度)
1	小中学生混合リレー	男女	小学生 中学生	各2人 各2人	
2	ジグザグボール蹴り競争	男女 女	小学生 (学年問わず) 20歳以上	2人 2人	・小学生もジグザグとする。 ・コーナーポストの間隔は10mとする。 (現行5m)
	No.1と統合				
3	ラグビーボール蹴り競争	男	40歳以上	4人	
4	ゲートボール, グラウンド・ゴルフ競争	男女	60歳以上	各3人	・的までの距離を短縮。 (距離は別途検討)
5	400mリレー	男	20歳以上 40歳以上	各2人	・走る年齢は自由
	No.2と統合				
	No.6と統合				
☆	(種目は別途検討)				・昼時間を避けての実施を検討する。
昼食休憩					

現行				
No.	種目	男女別	年齢	開始予定時刻
9	玉入れ競争	男	年齢制限なし	13:00
		女	年齢制限なし	
10	二人三脚むかひ競争	男	30歳以上	13:30
		女	20歳以上	
11	ボウリング競争	女	30歳以上	13:45
12	ボール運び競争	男	60歳以上	14:10
		女	50歳以上	
13	総合リレー	男女	小学生	14:25
		男女	中学生 (学年順)	
		男女	20歳未満	
		男女	20～30歳未満	
		男	30～40歳未満	
		女	30歳以上	
		男	40歳～50歳未満	
		女	40歳以上	
		男	50歳～60歳未満	
		男	60歳以上	
参加人数合計				117人

→

改訂案				
No.	種目	男女別	年齢	備考
6	玉入れ競争	男女混合	年齢制限なし	・1本の竿に2個のカゴを付け、カゴは高さに差を付ける。(低い方は1m下) ・高いカゴは2点、低いカゴは1点とする。
7	二人三脚むかひ競争	男女	20歳以上	・二人三脚を1組減らし、スタートはゴールと反対側にする。
8	ボウリング競争	女	20歳以上	・ボウリングの的までの距離を短縮。 (距離は別途検討)
9	ボール運び競争	男	60歳以上	・トラックでリレー形式により実施。 ・距離は1人50mとし、スタートはゴールと反対側にする。
		女	50歳以上	
10	総合リレー	男女	小学生	
		男女	中学生 (学年問わず)	
		男女	16～30歳未満	
		男女	30～50歳未満	
		男	50歳以上	
計				18人
参加人数合計				96人

幼児かけっこを含む

記入例

資料 2

様式第 1 号(第 4 条関係)

日付は空白で

令和 5 年 月 日

三 原 市 長 様

(地区名〇〇〇〇地区)

住 所 三原市〇〇〇〇丁目〇番〇号

申請者 氏 名 (代表者) 〇 〇 〇 〇 印

令和 5 年度補助金等交付申請書

地区代表者名

令和 5 年度三原市民体育大会参加地区補助金の交付を受けたいので、三原市民体育大会参加地区補助金交付要綱の規定により関係書類を添えて下記のとおり申請します。

なお、補助金の交付が決定されたときは、同要綱の規定に従うことを誓約します。

記

1 補助事業の名称

(1) 事業名 第 1 5 回三原市民体育大会

2 補助事業の目的及び内容

(1) 目 的 三原市民体育大会実施に伴う参加費用の補助

(2) 内 容 第 1 5 回三原市民体育大会に 〇 〇 〇 〇 地区として参加

3 補助事業の実施計画及び完了の予定期日

イ) 実施計画 令和 5 年 1 0 月 8 日 (日) 開催の第 1 5 回三原市民体育大会に、地区代表選手と共に出場参加する。

ロ) 事業完了予定日 令和 5 年 1 0 月 8 日 (日)

4 交付申請額

(項)	(節の説明)	(市費)
保健体育費	市民体育大会参加地区補助金	200,000円

5 交付申請額の算出方法

事業費	補助等基本額	補助率	補助又は負担金額
(収支予算書の支出額計)	(事業費(左欄)と同額)	定 額	200,000

6 補助事業の経費の配分及び経費の使用方法

経費の配分	経費の使用方法		
	自主実施	委託実施	計
(空 白)	(事業費と同額)	0	(事業費と同額)

(注) 補助事業者の予算書又は支出計画書を添付すること。

記入例

収 支 予 算 書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	備 考
市補助金	200,000	成績上位：1位 5,000 2位 4,000 3位 3,000
賞 金		
町内会・地区 負担金		
計		

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	備 考
お弁当・飲物代		弁当〇〇〇円×〇〇〇個 飲物〇〇〇円×〇〇〇本
練習時飲食代		飲物〇〇〇円×〇〇〇本
会場使用料		〇〇〇〇円×〇〇回
傷害保険料		〇〇〇円×〇〇〇人
クリーニング代		〇〇〇円×〇〇〇枚
通信事務費		切手代 〇〇〇円 コピー代 〇〇〇円
反省会費		〇〇〇〇円×〇〇人 ※酒を伴う場合は対象外です
備品器材購入費		
参加賞		〇〇〇円×〇〇人
車輛借上料		〇〇〇〇円×〇台
雑費		
計		

内訳がわかるよう、できるだけ詳しく書いてください。

区分に「予備費」は記入しないでください。

※収入の部と、支出の部の合計は同額となる。

記入例

様式第8号（第18条関係）

日付は空白で

令和5年 月 日

三原市長様

(地区名 ○○○○ 地区)

住所 三原市 _____

申請者氏名(代表者) ○○○○ 印

記入しない

地区代表者名

補助金（概算払）交付請求書

令和5年 月 日付け三教委ス第 号で補助金等の交付決定を受けた三原市民体育大会参加地区補助金について、次のとおり請求します。

記入しない

補助金等請求額 金200,000円也

交付決定額	受入済額	今回請求額	計	備考
円 200,000	円 0	円 200,000	円 200,000	

口座振替依頼書

なお、補助金等の概算払・前金払に当たっては、下記の口座にお振込みください。

金融機関	預金種別	口座番号	振込口座名義
支店・支所			

※ 市内に本店、支店のある金融機関

※ 振込口座名義欄には、通帳の名義すべてを記入してください。

個人名だけの口座へは振り込み不可。
団体名が分かるもの

記入例

請 求 書

請求金額	¥	記入しないでください										
内 訳	第15回三原市民体育大会_____の部____位 賞金											
三原市長様												
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 令和____年____月____日 地区名 _____ 地区 _____ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 上 _____ 代表者住所 三原市 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 記入しないでください 代 表 者 _____ (印) </div>												
振 込 先	フリガナ										地区代表者名	
	口座名義人											
	金融 機関	金融 機関名	銀行・信用金庫 農協・信用組合						支店名			
		預金 種目	1. 普通・総合 2. 当座 4. 貯蓄 9. その他 ()					口座番号				
ゆうちょ銀行	記 号						番 号					

第14回三原市民体育大会(令和元年10月13日) バス配車状況

地区名	バス種類	往路						復路	
		配車		出発		運動公園着	途中乗降	運動公園発	
		時間	場所	時間	場所	時間	有	配車時間	出発時間
深町	中型	7:20	深下組	7:40	深下組	8:20	有	14:40	15:30
中之町	大型	7:20	別所	7:40	別所	8:00	有	14:40	15:30
西野	中型	7:40	梅観橋	8:00	梅観橋	8:30	有	15:00	15:30
田野浦	大型	7:30	しまなみ信金江南支店西側	7:40	しまなみ信金江南支店西側	8:30	有	15:20	15:40
須波	大型	8:00	須波ハイツ公園前	8:00	須波ハイツ公園前	8:40	有	14:40	15:30
幸崎	大型	7:20	久津公民館停留所	7:25	久津公民館停留所	8:10	有	14:40	15:30
鷺浦	大型	7:20	三原内港	8:00	三原内港	8:30	無	14:30	14:50
皆実	大型	7:50	旧関西薬品西側	8:00	旧関西薬品西側	8:40	無	14:40	15:30
糸崎・木原	中型	7:20	上福地バス停	7:45	上福地バス停	8:50	有	14:40	15:30
三原中央	大型	7:50	隆景広場	8:00	隆景広場	8:40	有	14:40	15:30
本郷東	大型	7:50	本郷生涯学習センター	8:00	本郷生涯学習センター	8:30	無	15:30	16:00
三原北部	大型	7:20	久井文化センター	7:30	久井文化センター	8:10	無	14:40	15:30
大和	大型	6:50	榎梨公民館	7:00	榎梨公民館	8:30	有	15:00	15:30

様式第6号(第15条関係)

日付は空白で

令和5年 月 日

三原市長様

(地区名 地区)

住所 三原市

申請者氏名(代表者) 印

地区代表者名

記入しない

令和5年度補助事業完了実績報告書

令和5年 月 日付け三教委ス指令第 号により補助金の交付の決定通知を受けた標記の事業が完了したので三原市民体育大会参加地区補助金交付要綱の規定により関係書類を添えて下記のとおり

記入しない

- 1 補助事業等の名称
事業名 第15回三原市民体育大会
- 2 補助事業等の内容
目的 三原市民体育大会実施にともなう参加費用の補助
内容 第15回三原市民体育大会に 〇 〇 〇 地区として参加
- 3 補助事業等に要した経費及び補助金等の額
要した経費 円
補助金 200,000円
- 4 補助事業の収支決算
収入総額 円
支出総額 円
収支差引額 0円

収支決算書の
支出額計

収支差引額が0円
となるよう

収 支 決 算 書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	A 決 算 額	B 予 算 額	比較A－B		備 考
			増	減	
市補助金	200,000	200,000	0	0	
賞 金					
町内会・地区 負担金					
計					

2 支出の部

(単位：円)

区 分	A 決 算 額	B 予 算 額	比較A－B		備 考
			増	減	
					予算書と同様に、内訳が わかるよう、できるだけ 詳しく書いてください。 酒を伴う反省会費につい ては対象外です。
計					

※収入の部と支出の部の合計は同額となる。

令和5年 月 日

三原市長 様

(地区名 地区)

住 所 三原市

申請者 氏 名 (代表者) 印

令和5年度補助金等交付申請書

令和5年度三原市民体育大会参加地区補助金の交付を受けたいので、三原市民体育大会参加地区補助金交付要綱の規定により関係書類を添えて下記のとおり申請します。

なお、補助金の交付が決定されたときは、同規則の規定に従うことを誓約します。

記

1 補助事業の名称

(1) 事業名 第15回三原市民体育大会

2 補助事業の目的及び内容

(1) 目的 三原市民体育大会実施に伴う参加費用の補助

(2) 内容 第15回三原市民体育大会に 地区として参加

3 補助事業の実施計画及び完了の予定期日

イ) 実施計画 令和5年10月8日(日)開催の第15回三原市民体育大会に、地区代表選手と共に出場参加する。

ロ) 事業完了予定日 令和5年10月8日(日)

4 交付申請額

(項)	(節の説明)	(市費)
保健体育費	市民体育大会参加地区補助金	200,000円

5 交付申請額の算出方法

事業費	補助等基本額	補助率	補助又は負担金額
		定額	200,000

6 補助事業の経費の配分及び経費の使用方法

経費の配分	経費の使用方法		
	自主実施	委託実施	計

(注) 補助事業者の予算書又は支出計画書を添付すること。

収支予算書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	備 考
市補助金	200,000	
賞 金		
計		

2 支出の部

(単位：円)

区 分	予 算 額	備 考
計		

第15回三原市民体育大会（令和5年10月8日） バス配車・責任者確認表

（ 地区 ）

バス配車責任者 氏 名 （ ）

緊急連絡先（自宅： ）

（携帯： ）

※緊急連絡先はバス会社に提出しますのでご了承ください。

バス会社は未定

	配車時間・場所	出発時間・場所	運動公園着
往	時間（ ） 場所（ ）	時間（ ） 場所（ ）	時間（ ） 場所（運動公園 ）
復	時間（ ） 場所（運動公園 ）	時間（ ） 場所（運動公園 ）	

※当てはまる物に○をしてください。経路に変更がある場合は経路を明記してください。

(1) バスの種類（ 大型 ・ 中型 ・ 小型 ）

(2) 途中のバス停での乗降（ 有 ・ 無 ）

乗降場所（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

（ ）

(3) 経路（ 前回と同様 ・ 前回から変更 ）

変更の場合の経路（ ）

様式第6号(第15条関係)

令和 年 月 日

三原市長様

(地区名 _____ 地区)

住所 三原市

申請者氏名(代表者) _____ 印

令和5年度補助事業完了実績報告書

令和 年 月 日付け三教委ス指令第 号により補助金の交付の決定通知を受けた標記の事業が完了したので三原市民体育大会参加地区補助金交付要綱の規定により関係書類を添えて下記のとおり報告します。

- 補助事業等の名称
事業名 第15回三原市民体育大会
- 補助事業等の内容
目的 三原市民体育大会実施にともなう参加費用の補助
内容 第15回三原市民体育大会に _____ 地区として参加
- 補助事業等に要した経費及び補助金等の額
要した経費 円
補助金 200,000円
- 補助事業の収支決算
収入総額 円
支出総額 円
収支差引額 0円

収 支 決 算 書

1 収入の部

(単位：円)

区 分	A 決 算 額	B 予 算 額	比較A－B		備 考
			増	減	
市補助金	200,000	200,000	0	0	
賞 金					
計					

2 支出の部

(単位：円)

区 分	A 決 算 額	B 予 算 額	比較A－B		備 考
			増	減	
計					

競技種目

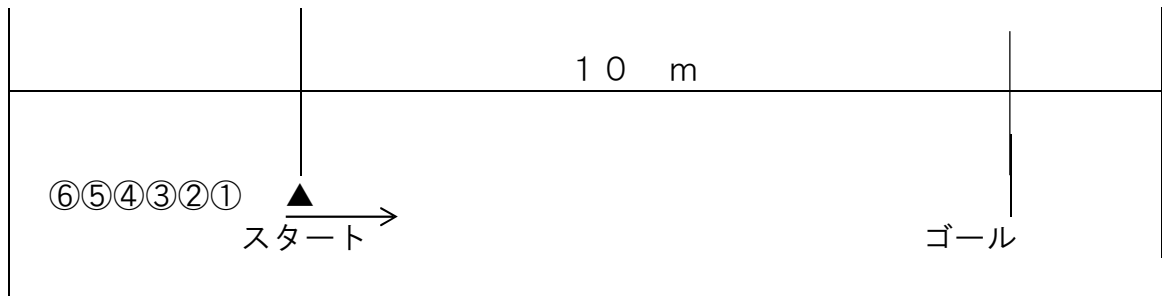
☆ 幼児かけっこ（オープン競技）

○開始予定時間 9:50

○出場者 小学生未満 各地区10人以内

* 注意 オープン競技のため、得点はつけない。

○競技方法 (1) スタート地点から10m先にあるゴールに向かって走る。
(2) ゴールしたら、参加賞（お菓子）を渡す。



1 小中学生混合リレー

○開始予定時間 10:05 ○継走距離 800m

○出場者 小・中学生 男・女各2人 計8人

* 注意 1. 学年は自由
2. 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

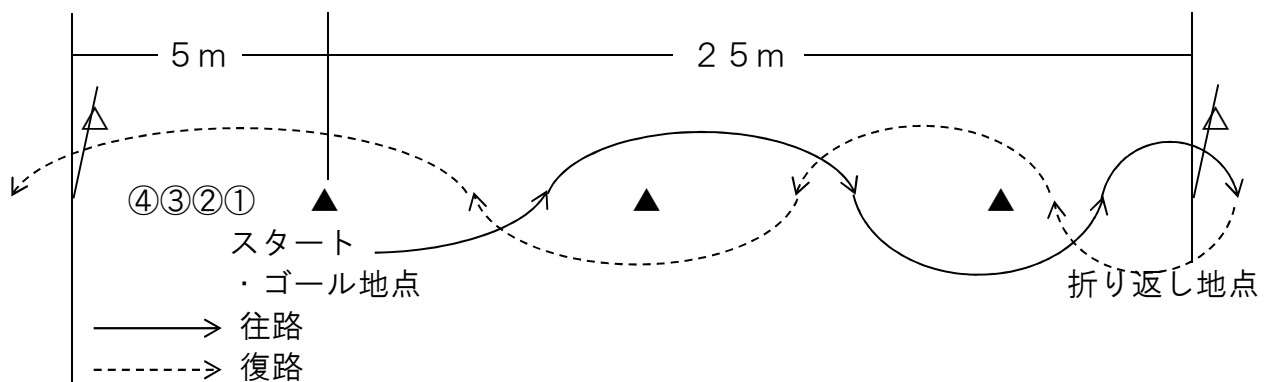
2 ジグザグボール蹴り競争

○開始予定時間 10:20

○出場者 小学生 男・女各1人 20歳以上 女2人 計4人

○競技方法 スタート地点から10mおきにコーナーポスト
走間25m 後5m

* 注意 1. 使用するボールは教育4号（ゴム製）とする。
2. 走る順番は各地域の自由



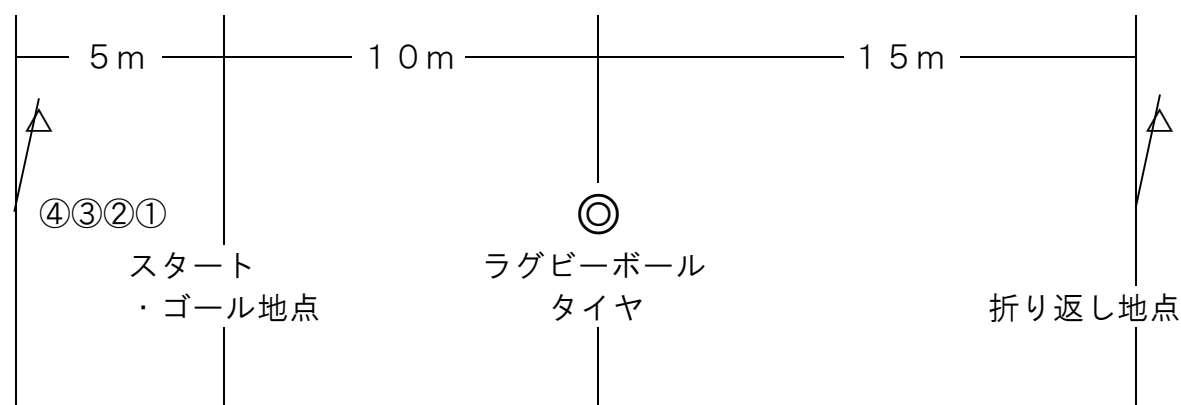
- (1) 走者は、サッカーボールをジグザグに蹴りながら往復し、スタートラインの後ろの旗を右から左回りに廻ってサッカーボールを次の走者に渡す。
- (2) 第1走者はコーナーポストの右側からスタートすることとし、ゴールはボール及び最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (3) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。
- (4) コーナーポスト及び折り返しの旗は、ジグザグに通過しなければならない。
- (5) 折り返し地点の旗は右廻り（時計廻り）、スタートライン後方の旗を廻る方向は左廻り（反時計廻り）となる。反対に廻った場合は失格となる。
- (6) 前・次走者とも、完全に5mのリレーゾーン内にいなければリレーできない。
- (7) ボールが観客席に入りそうな時は、役員がボールを止めて、その位置から競技を再開する。観客席に入って投げ返された場合は、審判は競技者の近くにボールを投げ返すことができる。

3 ラグビーボール蹴り競争

○開始予定時間 10:35

○出場者 40歳以上 男4人

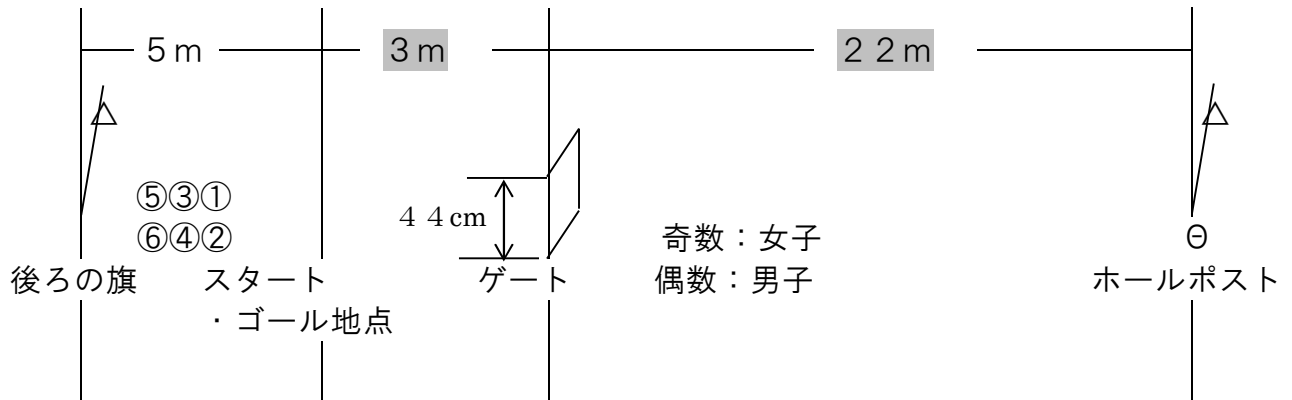
○競技方法 スタート地点から10mにタイヤ、ラグビーボール
走間25m 後5m



- (1) スタートしたら10m先のタイヤの中にあるラグビーボールを蹴りだし、15m先の旗を廻り蹴り出したタイヤの中にボールを入れ、スタートラインの後ろの旗を廻って次の走者にバトンを渡す。
- (2) 折り返し地点の旗の廻る方向は、自由とする。
- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (4) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (5) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。

4 ゲートボール, グラウンド・ゴルフ競争

- 開始予定時間 10:50
- 出場者 60歳以上 男・女各3人 計6人
- 競技方法 スタート地点から3mにゲート, 22mにグラウンドゴルフホールポスト
走間25m 後5m



- (1) 「位置について」で打つ人(打者)はボールを置き, 打つ構えまで行って良い。ボールを受ける人(次打者)はゲート後方で構えても良い。
- (2) ①打者はスタートライン上から3m先のゲートに向けボールを打撃面で打ち, ②次打者がゲート付近でボールが完全に通過するまで打者にボールを返す。打者はそのボールをスタートラインから前で受け取ることができる。ボールがゲートを通過したら, 22m先のホールポストに向けホールインするまでボールを打つ。打者はホールインしたボールを拾い上げ, スタートラインの後ろの旗を廻り, スティックとボールを次の打者に手渡す。
- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は, 自由とする。
- (4) ゲート通過後ボールのスティックによる制御は自由です。(動いているボールを静止しても良い。スティックのどの部分で打っても良い。)
- (5) 打者はスタートラインから前でボールを打ってはならない。片足はラインから出ても良い。
- (6) 打者はゲートを通過後, ホールインするまで, 手でボールに触れてはならない。ホールインとは, ホールポスト内で完全にボールが停止した状態をいう。まだ動いている状態で, ボールを拾い上げてはならない。
- (7) スタート順は, 女子・男子の順番に競技する。順番の間違いは失格とする。
- (8) ゴールは, 最終走者の体がゴールラインに入った時とする。

5 400mリレー

- 開始予定時間 11:15 ○継走距離 400m
- 出場者 20歳以上・40歳以上 男各2人 計4人
- * 注意 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

☆ オープン競技 未定

○開始予定時間 11:30

昼 食 休 憩

6 玉入れ競争

○開始予定時間 13:00

○出場者 年齢制限なし 女10人 男10人 計20人

○競技方法 高さ4.5m 45秒間 玉80個

- (1) C(女・男)・B(女・男)・A(女・男)の順に各1回行う。
- (2) スタートの合図とともに、竿持ち以外の人全員が1回1個投げることにする。(2個以上投げてはいけない。持つのも1個のみとする。)その後は自由とする。
- (3) 近隣の地区から転がってきた玉を、誤って自分のカゴに投げ入れた場合も有効。
- (4) 竿の位置は、各地区応援席前のフィールドとする。
- (5) 竿は主催者で用意する。
- (6) 玉は各地区で用意しても良い。(玉の大きさ、重さ等は自由、ボール類は禁止)
- (7) 竿持ちは2人以上、玉投げは8人以下とする。
- (8) 競技終了のピストルの合図後に入った玉は無効とする。
- (9) 竿は垂直に立てることとし、玉が入りやすいように故意に傾けてはならない。
- (10) 入退場は、応援席から直接行う。
- (11) 選手の数・玉の数等の確認は、各地区のスポーツ推進委員が行う。
- (12) 男女入れ替わり時は協力して玉を集める。

7 二人三脚むかで競争

○開始予定時間 13:30 ○継走距離 500m

○出場者 二人三脚競争 男・女20歳以上 各3人

むかで競争 男・女20歳以上 各5人 計16人

○競技方法 二人三脚競争～男女ペア3組(100m×3組)

むかで競争～男女各5人組(100m×2組)

- (1) スタート順は、二人三脚ペア組、むかでは女・男の順番により競技する。順番の間違いは失格とする。(二人三脚ペア3組の走る順番は自由とする。)
- (2) スタートのみ、セパレートコースを使用する。
- (3) 二人三脚で足を固定するハチマキは、3組とも始めから結んでおく。
- (4) むかで競争の競技中、足を固定しているハチマキが切れた場合、あるいはほどけた場合、リレーゾーンに到達するまでは競技を続行することとする。なお、ハチマキが切れた場合は、リレーゾーン内でロープの取り替えを行うこと。
- (5) むかで競争で、女から男にリレーするとき、足を固定するハチマキを結び代えるが、その際はほどく側も結ぶ側も自力で行い、他人に手伝ってもらってはいけない。
- (6) タスキをバトンとし、二人三脚からむかで競争へのタスキ渡しは、最前列者に渡すこと。
- (7) 女性のむかでから男性のむかでにリレーする際のタスキ渡しは不要。(足を固定するハチマキがタスキの代わりとなる。)
- (8) 足を固定するハチマキは、故意にほどけやすいように緩く結んではならない。
- (9) ゴールは、最後尾者がゴールラインを通過したときとする。
- (10) スタートの位置はゴールと反対側とする。

8 ボール運び競争

○開始予定時間 13:50

○出場者 男60歳以上3人 女50歳以上3人 計6人

* 注意 直接テミを持つことは禁止とする。

○競技方法 **トラックでリレー形式により実施。ロープ（長さ1.5m）付きのテミにラグビーボールを乗せて1人50m走る。**

~~(1) タスキをバトンとする。（削除）~~

(1) **テミにラグビーボールを入れ、テミからボールが落ちないようにロープを引っ張り1人50m走る。**

(2) **ロープを引っ張る際は、ロープに取り付けられた塩ビパイプを持つ。（直接ロープを持つことは禁止とする。）**

(3) **第1走者のみ60m走る。スタートから10m離れた場所に置かれたテミにラグビーボールを走者自身で乗せ、残り50m走る。この時直接テミを持つことは禁止とする。なお、テミ・ラグビーボールは走順に置かれた場所のものを使用する。**

~~(4) 次の走者にタスキを渡す。~~

(4) **テミからボールが落ちた場合は、テミを置いてボールを取りに行き、ボールをテミに入れてからロープを引っ張る。（故意にテミだけを引っ張り走った後にボールを取りに行くことは禁止とする。）**

(5) **ゴールは、最終走者のテミとボールがゴールラインに入った時とする。**

(6) **選手登録後でも走る順番は男女関係無く自由とする。**

(7) **直接テミを持つことは禁止とする。またボールを利用してテミの方向を変えることも禁止とする。直接テミを持って方向を変えた場合は失格とする。**

(8) **ボールが落ちにくくなるよう、テミにボールを立てかけることは禁止とする。**

(9) **スタートの位置はゴールと反対側とする。**

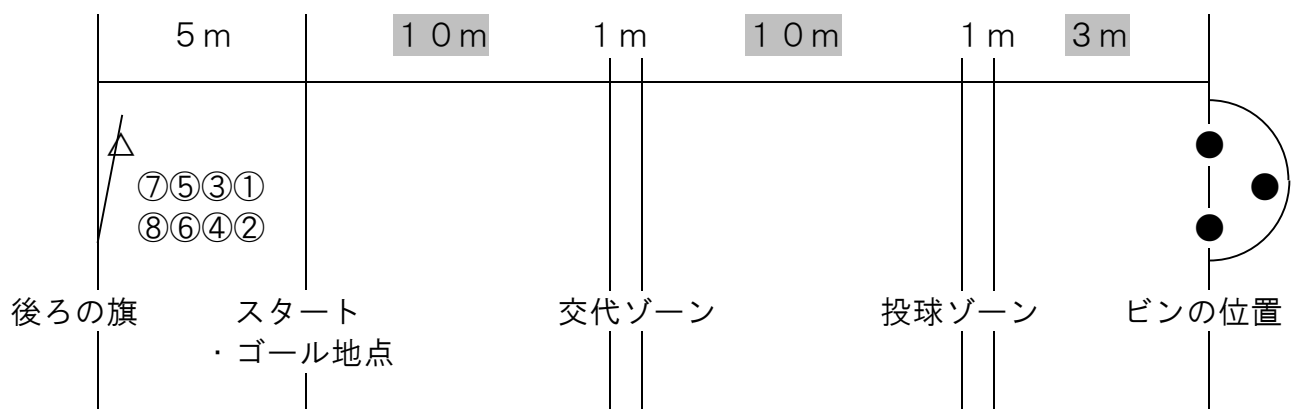
(10) **故意にテミを踏んだりするなど、走者を妨害した場合は失格とする。**

9 ボウリング競争

○開始予定時間 14:05

○出場者 女 20歳以上 8人

○競技方法 **スタート地点から10mに交代ゾーン。走間20m+ビン3m 後5m**



(1) **バドミントンのラケットにバレーボールを載せる。**

(2) **ラケットは、グリップ部分以外を持ってはいけない。**

- (3) ①は②と連手して、スタートから10mに置かれた交代ゾーンに入る。
(ボールが途中で落ちた場合や手が離れた場合は、スタート地点まで戻り1から再度スタートする。)
- (4) ①と②は、役割分担を交代して、さらに10m先の投球ゾーンまで行く。
(途中の失敗は交代ゾーンに戻り、再度スタートする。)
- (5) 走者は、投球ゾーンに入るまでボールに触れてはならない。
- (6) 投げ手は、いかなる場合も投球ゾーンから前には出てはならない。
- (7) 投げ手・受け手は①・②どちらがなっても良い。
- (8) 投球は、アンダースローで転がさなければならない。
ノーバウンドでビンに当たって倒れた時は、無効とする。
- (9) 投げ手は投球ゾーンに、受け手はビンの後に立ち、投げ手の投げるボールによって、3本のビンが全部倒れるまでボールを返す。全部倒れたら受け手はビンを元の位置に立て、ラケットとボールを持ち、投球ゾーンで連手してゴールラインの後ろの旗を廻って次の組に渡す。
- (10) 投球したボールが、自チームの選手や役員に触れた後にビンに当たり倒れた場合は無効。他のチームのボールにより倒れた場合は有効とする。
- (11) 選手はビンが倒れるまでは、身体の中の部分もビンに触れてはならない。
ただし、正規の投球により倒れたビンは競技に有利にならない範囲(前列のビンを中心にした半径1mの白線の後ろ側)で移動させても良い。なお、移動させるときに、誤ってまだ立っているビンを倒した場合、受け手がもとの位置に立てることとする。
- (12) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (13) ゴールは、連手した最終組の後ろの人の体がゴールラインに入った時とする。
- (14) 投げ手と受け手は交代することができる。
交代する時は、受け手が投げ手のいる投球ゾーンへ入った後に、元の投げ手が受け手の位置へつき、競技を再開する。
投げ手と受け手の交代する時のボールは、投げ手・受け手どちらがもっていてもよい。

10 総合リレー

- 開始予定時間 14:25 ○継走距離 1,800m
- 出場者 男10人・女8人 計18人
- 走る順 (★印スタート本部側)

No	走者	性	距離	No	走者	性	距離
★ 1	小学生	男	半周	★ 11	16~30歳未満	男	半周
2	〃	女	半周	12	〃	女	半周
★ 3	〃	男	半周	★ 13	30~50歳未満	男	半周
4	〃	女	半周	14	〃	女	半周
★ 5	中学生	男	半周	★ 15	〃	男	半周
6	〃	女	半周	16	〃	女	半周
★ 7	〃	男	半周	★ 17	50歳以上	男	半周
8	〃	女	半周	18	〃	男	半周
★ 9	16~30歳未満	男	半周				
10	〃	女	半周				

最終判定

失格かどうかの判定は、審判長が決する。
その判定に不服の場合は、地区代表者が最終判定審判員に申し出る。
最終判定審判員は、地区代表者と審判長よりそれぞれ事情を聴取して判定する。
この判定は最終判定とする。

円滑な競技運営

競技の進行について遅滞する状況が生じても、円滑な競技運営を図るために、順次競技を続行することとする。(荒天・事故等を除く。)
なお、この場合の決定は、閉会式までに行うこととする。

参加選手

- (1) 出場選手は、1人何種目も兼ねてもよい。
- (2) 出場選手の資格は、9月24日までにその地区に住民登録し、居住している者。
- (3) 年齢は、満年齢により10月8日(大会当日)現在とする。
- (4) 補員は、各競技種目について2人以内とする。ただし、総合リレーについては、各区分に1人の補員を認める。(申込書の補員記入枠以内)
- (5) 正選手・補員以外は出場できない。
- (6) 鷺浦地区については、鷺浦小学校へ通う他地区の児童・保護者の参加を認める。
- (7) 参加人数が揃わない地区については、事務局へ相談の上、その地区へゆかりのある人及び家族の参加を認める。

注意事項

- (1) 選手名簿を作成するので、締切期日を厳守のこと。
- (2) 選手は、胸・背部に縦15cm×横20cmの地区名入りのゼッケン又は、地区名を明記したユニホームを着用すること。
- (3) スパイクは一切使用しない。
- (4) 競技中の傷害などは、一応の応急措置はするが、それ以外の責任を負わない。健康に異常があるときは、参加してはならない。
- (5) 選手は、競技開始前20分に集合場所に集合を終え、点呼を受けること。
- (6) 継走種目の第1走者は、セパレートコースを走り、第2走者からオープンコースとする。
- (7) 各競技において、本要項の年齢等に該当しないものが出場した場合は、当該種目については失格するものとする。
- (8) リレー競技において、走順を明示するため、主催者で用意した番号入りゼッケンを背部に着用すること。

第14回（平成31年度）三原市民体育大会 ルール

リレー競技の統一ルール

- (1) 距離は全て一人100mとする。
- (2) スタート及びゴールは本部席側とする。
- (3) 第1走者のみ、第2コーナーまでセパレートコースとする。
- (4) 該当年齢の選手が選出できない場合は、20歳を頂点として代替出場を認める。
小学生 中学生 20歳未満 20歳以上 30歳 40歳 50歳 60歳
→ → → → △ ● △ ← ← ← ← ← ←
- (5) 第2走者は、第1走者のスタートコース順でバトンパスを行う。第3走者からは、二つ前のコーナーのコーナートップ制とする。
- (6) 同一チームがスタートで2回フライングした場合は、失格としないで3回目は1m後方に下がってスタートする。更にフライングした場合は、これにならう。
- (7) スタートの際、グラウンドに穴をあけない。
- (8) バトンパスの時、予備ゾーンは使用しない。
- (9) 次の場合は失格とする。
 - イ. 故意に走路の侵害をしたり、故意に他のチームの走者にインターフェアのあった場合。故意の有無にかかわらずそのチームに著しく有利になる場合。
 - ロ. リレーゾーン(20m)外でバトンの受け渡しをした場合。
 - ハ. バトンを手渡さなかった場合。
- 二. バトンパスの最中に、次走者の手にバトンが触れる前に渡そうとした走者がバトンを落とし、次走者がバトンを拾って走った場合。
(次走者の手に接触し落ちた場合は、どちらが拾っても良い。)

フィールド競技の統一ルール

- (1) スタートは本部席側とし、折り返しは観客側とする。
- (2) スタートの合図は、「位置について」・・・「ドン(ピストル)」でスタートする。
(「ヨーイ」は言わない。)
- (3) 前・次走者とも、完全に5mのリレーゾーン内にいなければリレーできない。
- (4) ボールとバトンを受け渡す競技については、次走者は、リレーゾーン内でボールとバトンを持ってスタートしなければならない。もし、ボールが先にリレーゾーンを通過した場合は、次走者が取りに行ってもよい。
- (5) ボール競技では、ボールが観客席に入りそうなときは、役員がボールを止めてその位置から競技を再開する。観客席に入って投げ返された場合は、審判は競技者の近くにボールを投げ返すことができる。

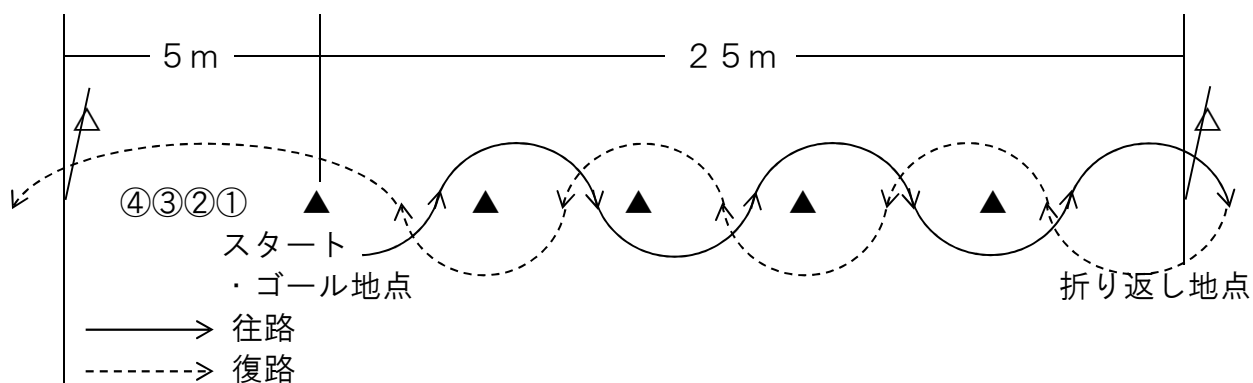
競技種目

1 小学生混合リレー

- 開始予定時間 9:50 ○継走距離 600m
○出場者 小学生 男・女各3人 計6人
* 注意 1. 学年は自由
2. 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

2 ジグザグボール蹴り競争

- 開始予定時間 10:05
○出場者 40歳以上 女4人
○競技方法 スタート地点から5mおきにコーナーポスト
走間25m 後5m
* 注意 使用するボールは教育4号（ゴム製）とする。



- (1) 走者は、サッカーボールをジグザグに蹴りながら往復し、スタートラインの後ろの旗を右から左回りに廻ってサッカーボールを次の走者に渡す。
- (2) 第1走者はコーナーポストの右側からスタートすることとし、ゴールはボール及び最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (3) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。
- (4) コーナーポスト及び折り返しの旗は、ジグザグに通過しなければならない。
- (5) 折り返し地点の旗は右廻り（時計廻り）、スタートライン後方の旗を廻る方向は左廻り（反時計廻り）となる。反対に廻った場合は失格となる。
- (6) 前・次走者とも、完全に5mのリレーゾーン内にいなければリレーできない。
- (7) ボールが観客席に入りそうな時は、役員がボールを止めて、その位置から競技を再開する。観客席に入って投げ返された場合は、審判は競技者の近くにボールを投げ返すことができる。

3 中学生混合リレー

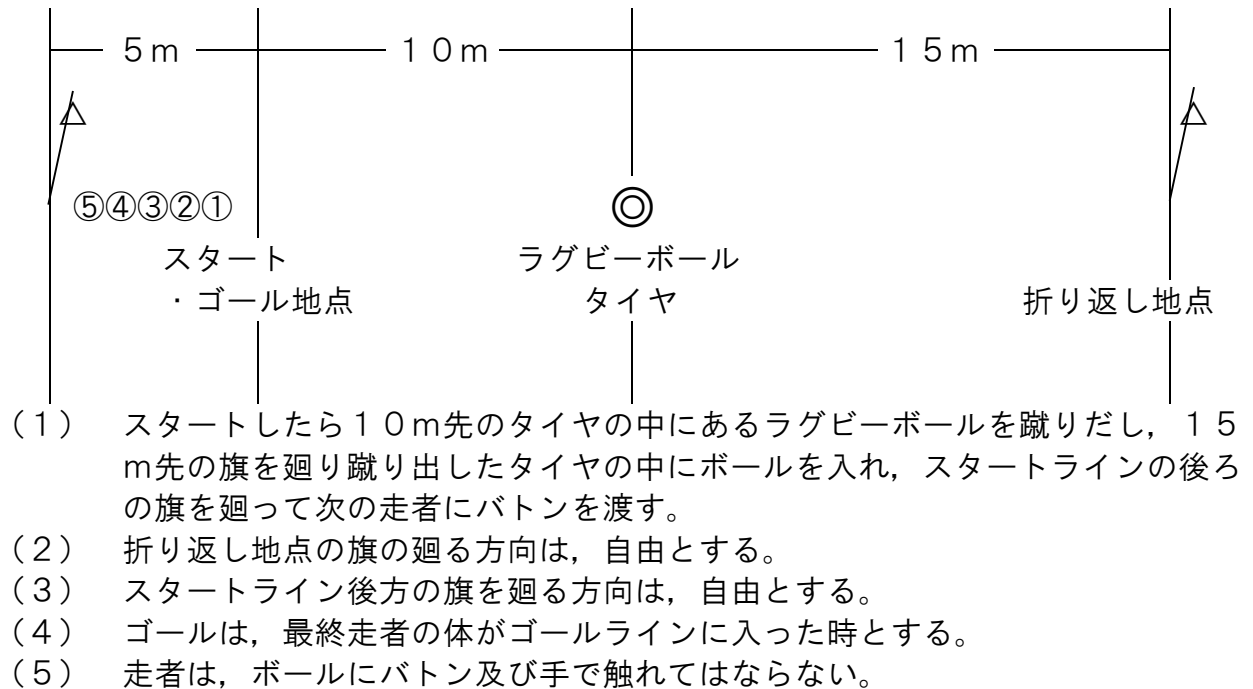
- 開始予定時間 10:20 ○継走距離 600m
○出場者 中学生 男・女各3人 計6人
* 注意 1. 学年は自由
2. 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

4 ラグビーボール蹴り競争

○開始予定時間 10:35

○出場者 50歳以上 男5人

○競技方法 スタート地点から10mにタイヤ, ラグビーボール
走間25m 後5m

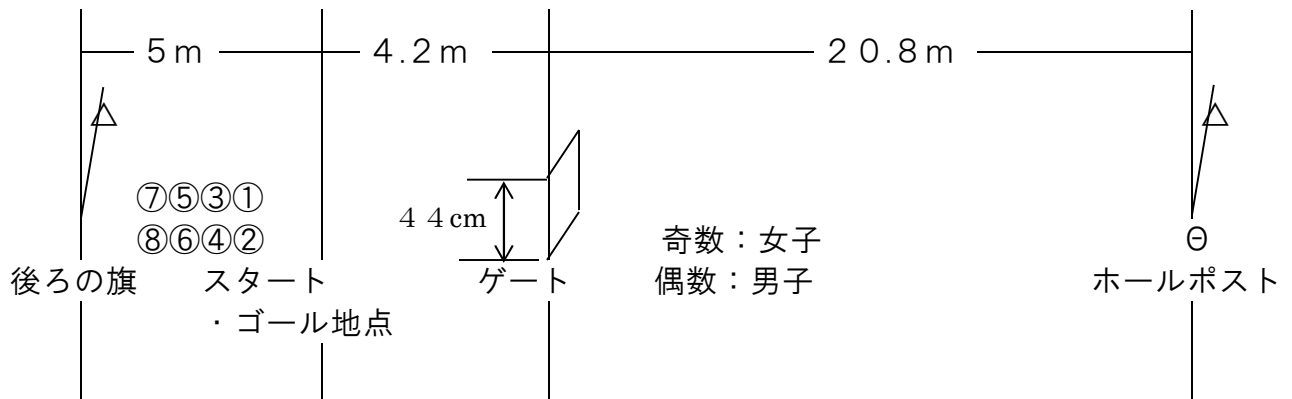


5 ゲートボール, グラウンド・ゴルフ競争

○開始予定時間 10:45

○出場者 60歳以上 男・女各4人 計8人

○競技方法 スタート地点から4.2mにゲート. 20.8mにグラウンドゴルフ
ホールポスト
走間25m 後5m



- (1) 「位置について」で打つ人（打者）はボールを置き、打つ構えまで行って良い。ボールを受ける人（次打者）はゲート後方で構えても良い。
- (2) ①打者はスタートライン上から4.2m先のゲートに向けボールを打撃面で打ち、
②次打者がゲート付近でボールが通過するまで打者にボールを返す。
打者はそのボールをスタートラインから前で受け取ることができる。
ボールがゲートを通過したら、20.8m先のホールポストに向けホールインするまでボールを打つ。打者はホールインしたボールを拾い上げ、スタートラインの後ろの旗を廻り、スティックとボールを次の打者に手渡す。
- (3) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (4) ゲート通過後ボールのスティックによる制御は自由です。（動いているボールを静止しても良い。スティックのどの部分で打っても良い。）
- (5) 打者はスタートラインから前でボールを打ってはならない。片足はラインから出ても良い。
- (6) 打者はゲートを通過後、ホールインするまで、手でボールに触れてはならない。ホールインとは、ホールポスト内で完全にボールが停止した状態をいう。まだ動いている状態で、ボールを拾い上げてはならない。
- (7) スタート順は、女子・男子の順番に競技する。順番の間違いは失格とする。
- (8) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。

6 400mリレー

○開始予定時間 11:10 ○継走距離 400m

○出場者 20歳以上・30歳以上 各男2人 計4人

* 注意 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

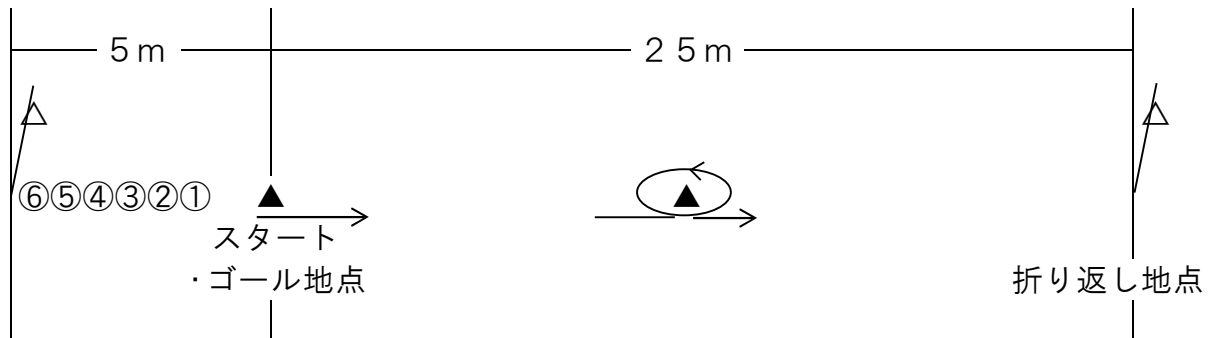
7 小学生ボール蹴り競争

○開始予定時間 11:20

○出場者 小学生 男・女各3人 計6人

- * 注意
1. 小1から小6まで各学年から1人 男女の学年構成は自由
 2. 競技は小1からはじまり小6で終わる。
 3. 使用するボールは教育4号（ゴム製）とする。
 4. 靴はこの種目のみ金属スパイク以外で自由とする。

○競技方法 スタート地点から10mにコーナーポスト
走間25m 後5m



- (1) 走者はサッカーボールを蹴りながら、10m先にあるコーナーポストを一回り廻り、折り返し地点の旗及びスタートラインの後の旗を廻って、サッカーボールを次の走者に渡す。復路では、コーナーポストを廻らない。
(コーナーポストや折り返し地点の旗を廻る方向は、自由とする。)
- (2) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (3) 第一走者はコーナーポストの右側からスタートすることとし、ゴールはボール及び最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (4) 走者は、ボールにバトン及び手で触れてはならない。

8 400mリレー

○開始予定時間 11:35 ○継走距離 400m

○出場者 40歳以上・50歳以上 各男2人 計4人

* 注意 選手登録後でも走る順番は各地域の自由

☆ フライング・ディスク（オープン競技）

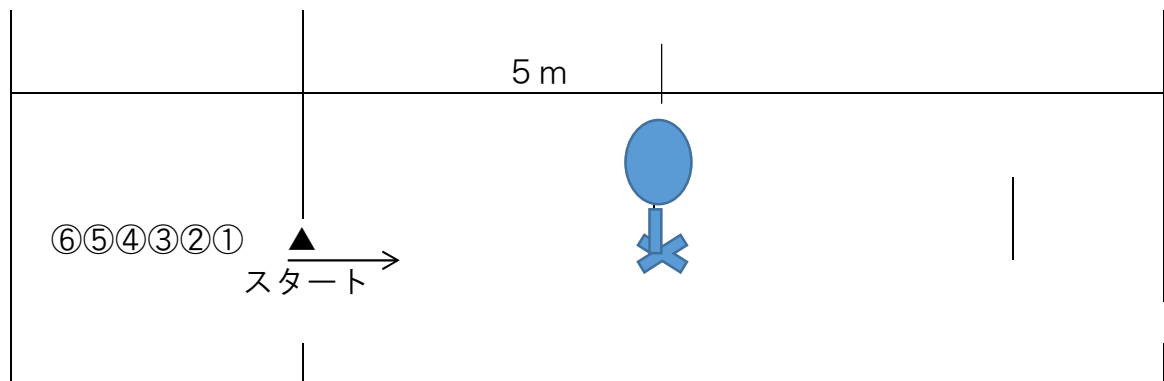
○開始予定時間 11:45

○出場者 三原市身体障害者福祉協会連合会で人選
各地区2人

- * 注意
1. 1コースから順にAクラス, Bクラス, Cクラスとする。
 2. 人数に偏りがある場合には, 事務局にて補充し, 各コースが同人数となるように調整する。
 3. オープン競技のため, 得点は付けない。

○競技方法 スタート地点から5メートル先にゴール
ゴールは, 直径(内径)0.915mの円形で円形の下部は地面から
0.61mの高さとする。

- (1) スタート地点から5m先にあるゴール(標的)に向かって, ディスクを一人
10回連続して投げる。
- (2) 得点は, ディスクが, 地面に触れず直接ゴール(標的)を通過した回数とする。



昼 食 休 憩

9 玉入れ競争

- 開始予定時間 13:00
- 出場者 年齢制限なし 女10人 男10人 計20人
- 競技方法 高さ4.5m 45秒間 玉80個

- (1) C(女・男)・B(女・男)・A(女・男)の順に各1回行う。
- (2) スタートの合図とともに、竿持ち以外の人全員が1回1個投げることとする。(2個以上投げてはいけない。持つのも1個のみとする。)その後は自由とする。
- (3) 近隣の地区から転がってきた玉を、誤って自分のカゴに投げ入れた場合も有効。
- (4) 竿の位置は、各地区応援席前のフィールドとする。
- (5) 竿は主催者で用意する。
- (6) 玉は各地区で用意しても良い。(玉の大きさ、重さ等は自由、ボール類は禁止)
- (7) 竿持ちは2人以上、玉投げは8人以下とする。
- (8) 競技終了のピストルの合図後に入った玉は無効とする。
- (9) 竿は垂直に立てることとし、玉が入りやすいように故意に傾けてはならない。
- (10) 入退場は、応援席から直接行う。
- (11) 選手の数・玉の数等の確認は、各地区のスポーツ推進委員が行う。
- (12) 男女入れ替わり時は協力して玉を集める。

10 二人三脚むかで競争

- 開始予定時間 13:30 ○継走距離 600m
- 出場者 二人三脚競争 男30歳以上 4人 (内50歳以上 1人)
女20歳以上 4人 (内50歳以上 1人)
むかで競争 男30歳以上 5人
女20歳以上 5人 計 18人
- 競技方法 二人三脚競争～男女ペア4組 (100m×4組)
※1組は50歳以上のペア
むかで競争 ～男女各5人組 (100m×2組)

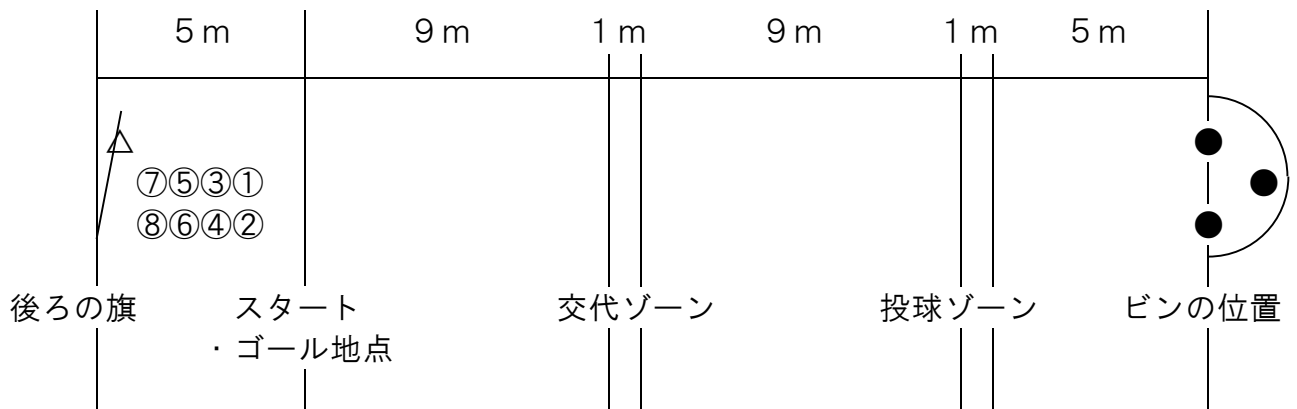
- (1) スタート順は、二人三脚ペア組、むかでは女・男の順番により競技する。順番の間違いは失格とする。(二人三脚ペア4組の走る順番は自由とする。)
- (2) スタートのみ、セパレートコースを使用する。
- (3) 二人三脚で足を固定するハチマキは、4組とも始めから結んでおく。
- (4) むかで競争の競技中、足を固定しているハチマキが切れた場合、あるいはほどけた場合、リレーゾーンに到達するまでは競技を続行することとする。なお、ハチマキが切れた場合は、リレーゾーン内でロープの取り替えを行うこと。
- (5) むかで競争で、女から男にリレーするときに、足を固定するハチマキを結び代えるが、その際はほどく側も結ぶ側も自力で行い、他人に手伝ってもらってはいけない。
- (6) タスキをバトンとし、二人三脚からむかで競争へのタスキ渡しは、最前列者に渡すこと。
- (7) 女子のむかdeから男子のむかdeにリレーする際のタスキ渡しは不要。(足を固定するハチマキがタスキの代わりとなる。)
- (8) 足を固定するハチマキは、故意にほどけやすいように緩く結んではならない。
- (9) ゴールは、最後尾者がゴールラインを通過したときとする。

11 ボウリング競争

○開始予定時間 13:45

○出場者 女 30歳以上 8人

○競技方法 スタート地点から9mに交代ゾーン。走間20m+ビン5m 後5m



- (1) バドミントンのラケットにバレーボールを載せる。
- (2) ラケットは、グリップ部分以外を持ってはいけない。
- (3) ①は②と連手して、スタートから9mに置かれた交代ゾーンに入る。
(ボールが途中で落ちた場合や手が離れた場合は、スタート地点まで戻り1から再度スタートする。)
- (4) ①と②は、役割分担を交代して、さらに9m先の投球ゾーンまで行く。
(途中の失敗は交代ゾーンに戻り、再度スタートする。)
- (5) 走者は、投球ゾーンに入るまでボールに触れてはならない。
- (6) 投げ手は、いかなる場合も投球ゾーンから前には出てはならない。
- (7) 投げ手・受け手は①・②どちらがなっても良い。
- (8) 投球は、アンダースローで転がさなければならない。
ノーバウンドでビンに当たって倒れた時は、無効とする。
- (9) 投げ手は投球ゾーンに、受け手はビンの後に立ち、投げ手の投げるボールによって、3本のビンが全部倒れるまでボールを返す。全部倒れたら受け手はビンを元の位置に立て、ラケットとボールを持ち、投球ゾーンで連手してゴールラインの後ろの旗を廻って次の組に渡す。
- (10) 投球したボールが、自チームの選手や役員に触れた後にビンに当たり倒れた場合は無効。他のチームのボールにより倒れた場合は有効とする。
- (11) 選手はビンが倒れるまでは、身体のどの部分もビンに触れてはならない。
ただし、正規の投球により倒れたビンは競技に有利にならない範囲（前列のビンを中心にした半径1mの白線の後ろ側）で移動させても良い。なお、移動させるときに、誤ってまだ立っているビンを倒した場合、受け手がもとの位置に立てることとする。
- (12) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (13) ゴールは、連手した最終組の後ろの人の体がゴールラインに入った時とする。
- (14) 投げ手と受け手は交代することができる。
交代する時は、受け手が投げ手のいる投球ゾーンへ入った後に、元の投げ手が受け手の位置へつき、競技を再開する。
投げ手と受け手の交代する時のボールは、投げ手・受け手どちらがもっていてもよい。

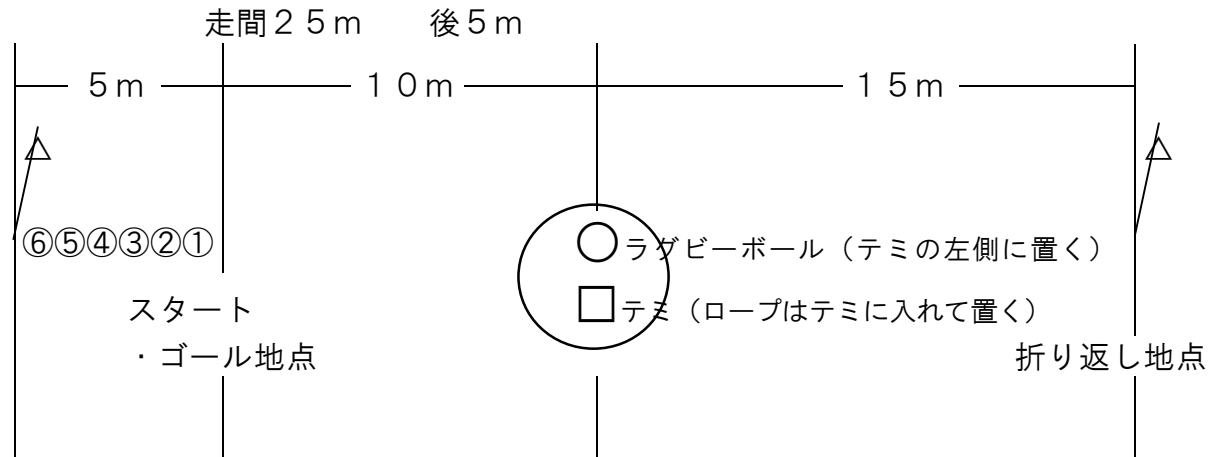
12 ボール運び競争

○開始予定時間 14:10

○出場者 男60歳以上3人 女50歳以上3人 計6人

* 注意 直接テミを持つことは禁止とする。

○競技方法 スタート地点から10mにラグビーボール、
ロープ（長さ1.5m）付きのテミ



- (1) タスキをバトンとする。
- (2) スタート時は10m先の白線円（直径1m）の中に上記図のように置いてある。
- (3) テミにラグビーボールを入れ、テミからボールが落ちないようにロープを引っ張る。
- (4) ロープを引っ張る際は、ロープに取り付けられた塩ビパイプを持つ。（直接ロープを持ってはいけない。）
- (5) 折り返し地点を廻り、白線円内にテミとラグビーボールを置き、スタートライン後ろの旗を廻って、次の走者にタスキを渡す。（テミとラグビーボールは白線円内に入っていること。ロープについては白線円外でも良しとする。）
- (6) テミからボールが落ちた場合は、テミを置いてボールを取りに行き、ボールをテミに入れてからロープを引っ張る。（故意にテミだけを引っ張り走った後にボールを取りに行くことは禁止とする。）
- (7) 折り返し地点の旗を廻る方向は、自由とする。
(8) スタートライン後方の旗を廻る方向は、自由とする。
- (9) ゴールは、最終走者の体がゴールラインに入った時とする。
- (10) 選手登録後でも走る順番は男女関係無く自由とする。
- (11) 直接テミを持つことは禁止とする。またボールを利用してテミの方向を変えることも禁止とする。直接テミを持って方向を変えた場合は失格とする。
- (12) ボールが落ちにくくなるよう、テミにボールを立てかけることは禁止とする。

13 総合リレー

○開始予定時間 14:25 ○継走距離 2,000m

○出場者 男11人・女9人 計20人

○走る順 (★印スタート本部側)

	No	走 者	性	距離		No	走 者	性	距離
★	1	小 学 生	男	半周	★	11	20歳未満	男	半周
	2	〃	女	半周		12	〃	女	半周
★	3	〃	男	半周	★	13	20歳～30歳未満	男	半周
	4	〃	女	半周		14	〃	女	半周
★	5	中学1年生	男	半周	★	15	30歳～40歳未満	男	半周
	6	〃	女	半周		16	30歳以上	女	半周
★	7	中学2年生	男	半周	★	17	40歳～50歳未満	男	半周
	8	〃	女	半周		18	40歳以上	女	半周
★	9	中学3年生	男	半周	★	19	50歳～60歳未満	男	半周
	10	〃	女	半周		20	60歳以上	男	半周

最終判定

失格かどうかの判定は、審判長が決する。
その判定に不服の場合は、地区代表者が最終判定審判員に申し出る。
最終判定審判員は、地区代表者と審判長よりそれぞれ事情を聴取して判定する。
この判定は最終判定とする。

円滑な競技運営

競技の進行について遅滞する状況が生じても、円滑な競技運営を図るために、順次競技を続行することとする。(荒天・事故等を除く。)
なお、この場合の決定は、閉会式までに行うこととする。

参加選手

- (1) 出場選手は、1人何種目も兼ねてもよい。
- (2) 出場選手の資格は、9月30日までにその地区に住民登録し、居住している者。
- (3) 年齢は、満年齢により10月13日(大会当日)現在とする。
- (4) 補員は、各競技種目について2人以内とする。ただし、総合リレーについては、各区分に1人の補員を認める。(申込書の補員記入枠以内)
- (5) 正選手・補員以外は出場できない。

注意事項

- (1) 選手名簿を作成するので、締切期日を厳守のこと。
- (2) 選手は、胸・背部に縦15cm×横20cmの地区名入りのゼッケン又は、地区名を明記したユニホームを着用すること。
- (3) スパイクは一切使用しない。
- (4) 競技中の傷害などは、一応の応急措置はするが、それ以外の責任を負わない。健康に異常があるときは、参加してはならない。
- (5) 選手は、競技開始前20分に集合場所に集合を終え、点呼を受けること。
- (6) 継走種目の第1走者は、セパレートコースを走り、第2走者からオープンコースとする。
- (7) 各競技において、本要項の年齢等に該当しないものが出場した場合は、当該種目については失格するものとする。

令和5年度 各種スポーツ大会等日程表

資料4

令和5年4月18日現在

	大会名	開催日	会場
1	「わくわく体験テーマパーク事業」 スポーツのテーマパークinみはら 屋内編	5月13日(土)	三原リージョンプラザ・三原市武道館・南小学校
2	「わくわく体験テーマパーク事業」 スポーツのテーマパークinみはら 屋外編	5月20日(土)	やまみ三原運動公園
3	第19回 市民ゲートボール大会	6月8日(木)	須波ゲートボール場
4	JCLプロロードレースツアー 佐木島ロードレース	7月8日(土)	佐木島
5	第32回 トライアスロンさぎしま大会	8月20日(日)	佐木島
6	第16回 三原市民体育大会	10月8日(日)	やまみ三原運動公園
7	第40回記念白竜湖ふれあいグリーンマラソン大会	11月5日(日)	白竜湖スポーツ村公園 総合運動場
8	ファンライドみはらin中央森林公園	11月19日(日)	広島県立中央森林公園
9	第19回 市民ビーチボールバレー大会	令和6年1月14日(日)	三原リージョンプラザ
10	ファンライドみはらin佐木島	令和6年3月上旬	佐木島
11	第36回 三原市民グラウンド・ゴルフ選手権大会	令和6年3月13日(水) (予備日:3月14日(木))	やまみ三原運動公園 陸上競技場

※コロナウイルス感染症の状況により、中止又は延期する場合があります。

地区代表者・地区役員変更届出書

令和 年 月 日

地区名 (地区)

変更する内容に○をしてください
1 地区代表者
2 地区役員

前任者記入欄

氏 名	
-----	--

新任者記入欄

ふり 氏 なが 名	
役職 (地区役員のみ)	
住 所	〒 三原市
電話番号	(自宅) (携帯)
変更年月日	令和 年 月 日～

※ 地区代表者・地区役員を交代される場合は、本書類をスポーツ振興課にご提出ください。

送付先

〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号

三原市教育委員会 スポーツ振興課 宛

TEL: 0848-64-7219 FAX: 0848-67-5912

E-mail: sports@city.mihara.hiroshima.jp

地区代表者以外送付先届出書

令和 年 月 日

スポーツ振興課 様

地区代表者

スポーツ振興課から案内のある各市民大会等の周知徹底を図るため、次の者にも同様の送付をお願いします。

地区名	地 区
役 職	
住 所	〒 ー
(ふりがな) 氏 名	
連絡先	